

くれしん景気動向調査

2023年7～9月期



くれしんオリジナルキャラクター
くれねこ

ご案内

「くれしん景気動向調査」は、経営者の皆さまに最新の地元の景気についての情報を提供することを目的としています。

この景気動向調査は次のような特色を持っています。

- ① 製造業、卸売業、小売業、建設業、不動産業、サービス業の6業種について景気の動きを調査しています。
- ② ご協力いただいている調査先は330社に及び、調査対象地域は呉市を中心とする当金庫営業店所在地です。
- ③ 3か月ごとに最新の動きをまとめています。
- ④ 各回特別のテーマを設け「特別調査」を加えています。今回のテーマは「中小企業の将来を見据えた事業承継について」です。

調査概要

1. 調査時期 2023年9月上旬
(毎四半期実施)
2. 調査内容 2023年4～6月と比較した
2023年7～9月の実績と
2023年7～9月と比較した
2023年10～12月の見通し
3. 調査方法 調査員による聴き取り調査
4. 調査対象企業数 当金庫のお取引先330社
5. 回答企業数 319社
6. 回答率 97%
7. 回答企業内訳 下表の通り

DIについて

DI (ディフュージョン・インデックス) とは、景気の動いている方向を判断するために用いられる指標で、「増加 (または上昇・余裕があるなど)」という回答数から「減少 (または下降・苦しいなど)」という回答数を差し引いたものをいいます。

例えば、売上額について回答全数が100で、このうち「増加」回答が合計40あり、一方で「減少」回答が合計30あったとすれば、DIは+10%ポイントとなります。

従業者規模別	計	製造業	卸売業	小売業	建設業	不動産業	サービス業(※)
1～ 4人	90	23	7	35	12	7	6
5～ 9人	66	31	6	4	15	2	8
10～ 19人	57	30	2	6	12	0	7
20～ 29人	37	19	6	4	4	0	4
30～ 39人	18	7	2	3	2	0	4
40～ 49人	10	4	1	1	0	0	4
50～ 99人	20	7	2	4	4	0	3
100～	21	13	1	0	2	0	5
	319	134	27	57	51	9	41

※運輸業・郵便業を含んでいます。

2023年7～9月期の当地企業の業況判断は、製造業はほぼ横這い、非製造業は小幅改善。
 来期（2023年10～12月期）は、製造業は小幅改善、非製造業は小幅後退の見通し。

概況

●2023年7～9月期の業況

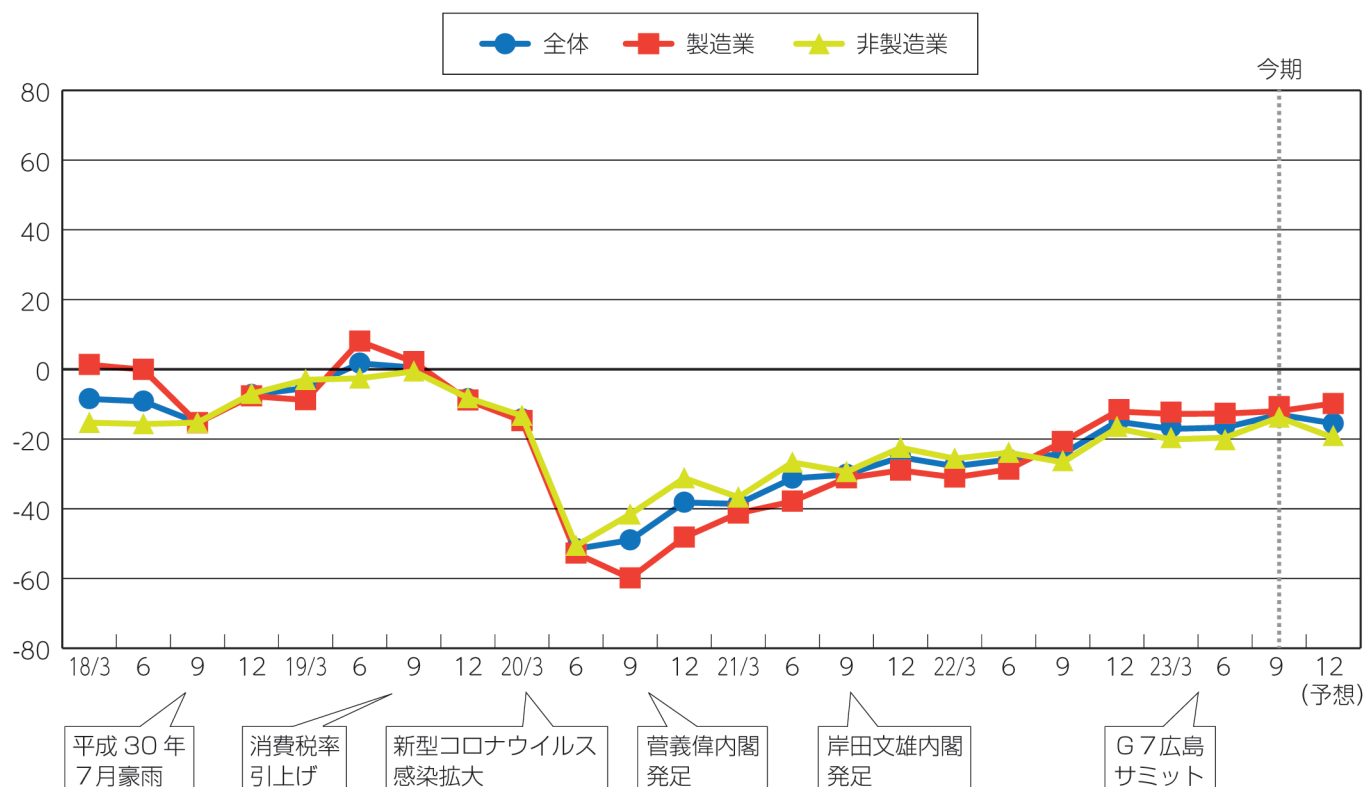
当地企業の今期の業況判断DIは、全体で△15.0と前期比1.6ポイントの小幅改善となりました。製造業・非製造業別にみると、製造業は△11.9と前期比ほぼ横這い、非製造業は△17.3と前期比2.2ポイントの小幅改善となっています。

●2023年10～12月期の業況見通し

来期については、全体で△15.4と今期比ほぼ横這いの見通しです。製造業・非製造業別にみると、製造業は△9.7と今期比2.2ポイントの小幅改善、非製造業は△19.5と今期比2.2ポイントの小幅後退を見込んでいます。

	前 期	今 期（7～9月）			来期予想	
	（4～6月）	（カッコ内は前期の予想）	前期比	予想比	（10～12月）	今期比
全 体（319社）	△ 16.6	△ 15.0（△12.9）	+ 1.6	- 2.1	△ 15.4	- 0.4
製 造 業（134社）	△ 12.6	△ 11.9（△11.9）	+ 0.7	+ 0.0	△ 9.7	+ 2.2
非製造業（185社）	△ 19.5	△ 17.3（△13.7）	+ 2.2	- 3.6	△ 19.5	- 2.2

業況判断DIの推移



① 業種別業況判断D I

業種別の業況判断をみると、**製造業**では「自動車」が前期比大幅改善、「船舶」が改善となりましたが、一方で「金属製品」が前期比後退、「食料品」「その他」が小幅後退となっています。**非製造業**では「卸売業」が前期比改善、「小売業」「建設業」が小幅改善となりましたが、一方で「サービス業」が小幅後退となっています。

来期の見通しについては、**製造業**では「食料品」「一般機械器具」が今期比改善、「金属製品」が小幅改善を見込んでおり、**非製造業**では「小売業」が小幅改善、「卸売業」「不動産業」が後退を見込んでいます。

【業種別業況判断D I一覧表】

業 種	有 効 回 答 数	業況判断 (D I) の推移			判 断			
		前 期	今 期	来期予想	今 期		来 期	
		4~6月	7~9月	10~12月	前 期	傾 向	今 期	傾 向
全 体	319	△16.6	△15.0	△15.4	小幅改善		ほぼ横這い	
製造業	134	△12.6	△11.9	△9.7	ほぼ横這い		小幅改善	
食料品	17	11.8	5.9	17.6	小幅後退		改 善	
金属製品	35	△10.0	△28.6	△25.7	後 退		小幅改善	
一般機械器具	22	△16.0	△9.1	9.1	小幅改善		改 善	
輸送用機械器具	31	△42.4	△16.1	△19.4	大幅改善		小幅後退	
うち船舶	14	△53.3	△35.7	△35.7	改 善		横 這 い	
うち自動車	17	△33.3	0.0	△5.9	大幅改善		小幅後退	
その他	29	6.7	0.0	△10.3	小幅後退		後 退	
非製造業	185	△19.5	△17.3	△19.5	小幅改善		小幅後退	
卸売業	27	△44.4	△29.6	△40.7	改 善		後 退	
小売業	57	△35.0	△31.6	△26.3	小幅改善		小幅改善	
建設業	51	△9.6	△5.9	△11.8	小幅改善		小幅後退	
不動産業	9	△11.1	△11.1	△22.2	横 這 い		後 退	
サービス業	41	4.8	△4.9	△4.9	小幅後退		横這い	
うち個人消費関連 食料品製造業 小売業・サービス業	115	△14.3	△16.5	△12.2	小幅後退		小幅改善	

増減±0…横這い 増減±1.0未満…ほぼ横這い ±10.0未満…小幅改善（後退） ±20.0未満…改善（後退） ±20.0以上…大幅改善（後退）

売上D I および収益D I

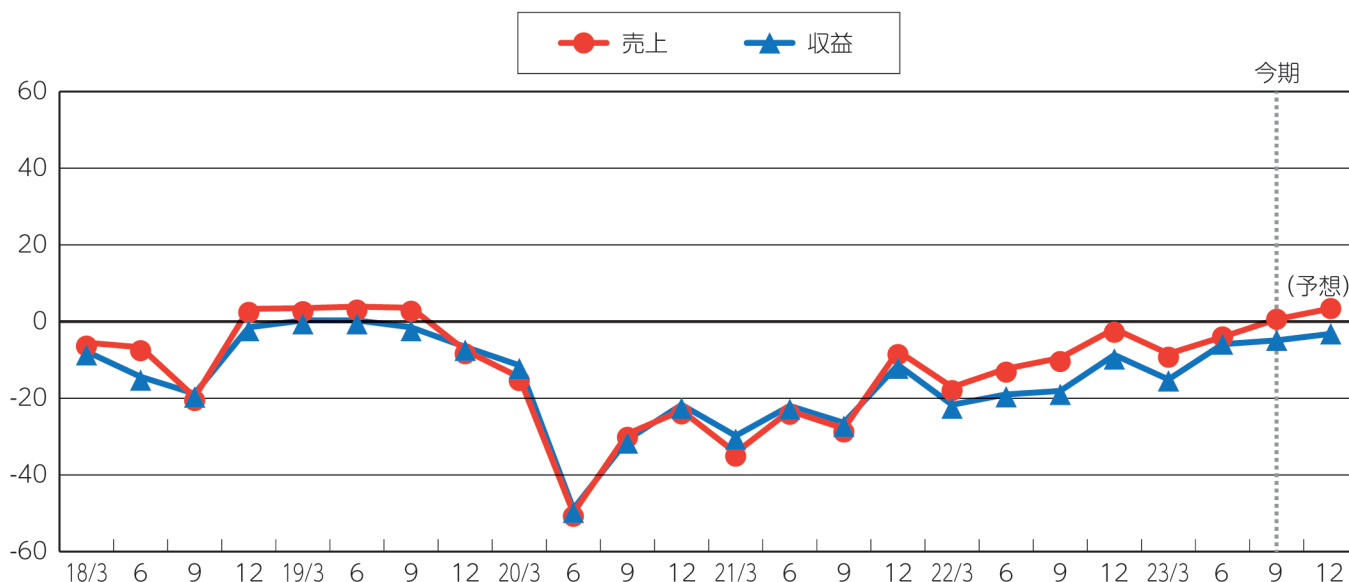
売上D Iと収益D I（「増加」、「やや増加」－「減少」、「やや減少」）をみると、全体では売上D Iが前期比小幅改善、収益D Iがほぼ横這いとなりました。業種別にみると、**製造業では「自動車」**が売上D I・収益D Iともに前期比大幅改善となりましたが、「一般機械器具」「食料品」「その他」は売上D Iが小幅後退、「金属製品」は収益D Iが小幅後退となりました。**非製造業では「卸売業」「小売業」「建設業」「不動産業」**で売上D Iが前期比改善、収益D Iが小幅改善または横這いとなりました。一方で「サービス業」は売上D I・収益D Iともに後退となりました。

来期の見通しについては、全体では売上D I・収益D Iともに今期比小幅改善の見通しですが、「小売業」「建設業」においては、売上D I・収益D Iともに小幅後退、「船舶」は収益D Iが小幅後退の見通しです。

【業種別売上D Iおよび収益D I】

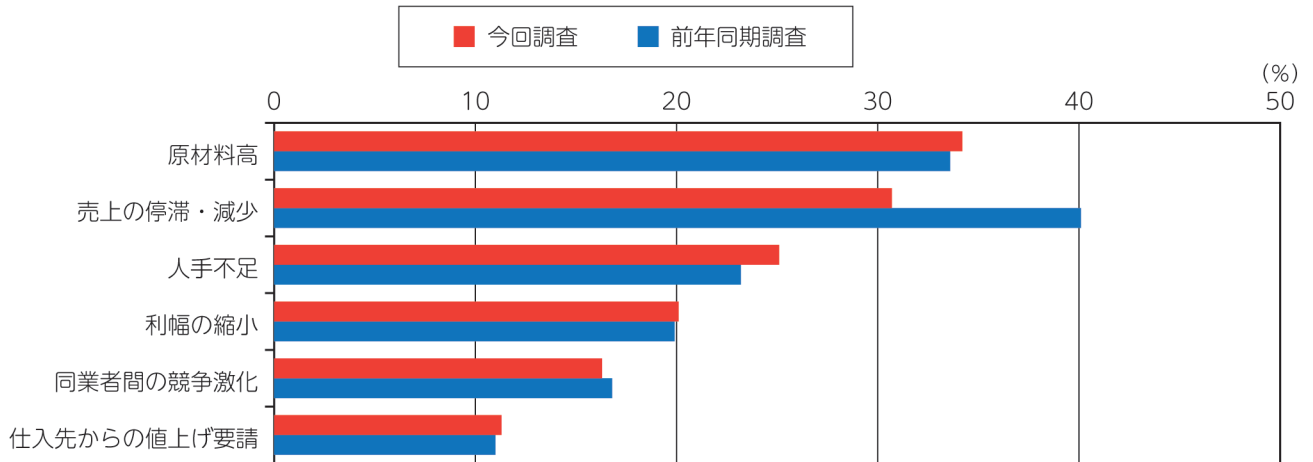
業 種	売上D Iの推移					収益D Iの推移				
	前 期 4～6月 実 績	今 期 7～9月実績見込 (前期比)		来 期 10～12月見通し (今期比)		前 期 4～6月 実 績	今 期 7～9月実績見込 (前期比)		来 期 10～12月見通し (今期比)	
全 体	△4.9	△0.9	(4.0)	2.5	(3.4)	△6.8	△6.3	(0.5)	△4.1	(2.2)
製造業	△0.7	△0.7	(0.0)	7.5	(8.2)	△8.1	△5.2	(2.9)	△0.7	(4.5)
食料品	29.4	23.5	(-5.9)	29.4	(5.9)	17.6	17.6	(0.0)	17.6	(0.0)
金属製品	△16.7	△14.3	(2.4)	△8.6	(5.7)	△20.0	△25.7	(-5.7)	△20.0	(5.7)
一般機械器具	0.0	△9.1	(-9.1)	4.5	(13.6)	△4.0	0.0	(4.0)	0.0	(0.0)
輸送用機械器具	△18.2	0.0	(18.2)	3.2	(3.2)	△30.3	△12.9	(17.4)	△9.7	(3.2)
うち船舶	△20.0	△21.4	(-1.4)	△21.4	(0.0)	△20.0	△14.3	(5.7)	△21.4	(-7.1)
うち自動車	△22.2	17.6	(39.8)	23.5	(5.9)	△38.9	△11.8	(27.1)	0.0	(11.8)
その他	16.7	6.9	(-9.8)	20.7	(13.8)	10.0	10.3	(0.3)	20.7	(10.4)
非製造業	△7.9	△1.1	(6.8)	△1.1	(0.0)	△5.8	△7.0	(-1.2)	△6.5	(0.5)
卸売業	△22.2	△7.4	(14.8)	△3.7	(3.7)	△14.8	△14.8	(0.0)	△7.4	(7.4)
小売業	△13.3	△1.8	(11.5)	△3.5	(-1.7)	△13.3	△10.5	(2.8)	△12.3	(-1.8)
建設業	△5.8	5.9	(11.7)	3.9	(-2.0)	0.0	2.0	(2.0)	△2.0	(-4.0)
不動産業	△33.3	△22.2	(11.1)	△22.2	(0.0)	△22.2	△22.2	(0.0)	△22.2	(0.0)
サービス業	11.9	0.0	(-11.9)	2.4	(2.4)	7.1	△4.9	(-12.0)	0.0	(4.9)

売上・収益D Iの推移（全体）

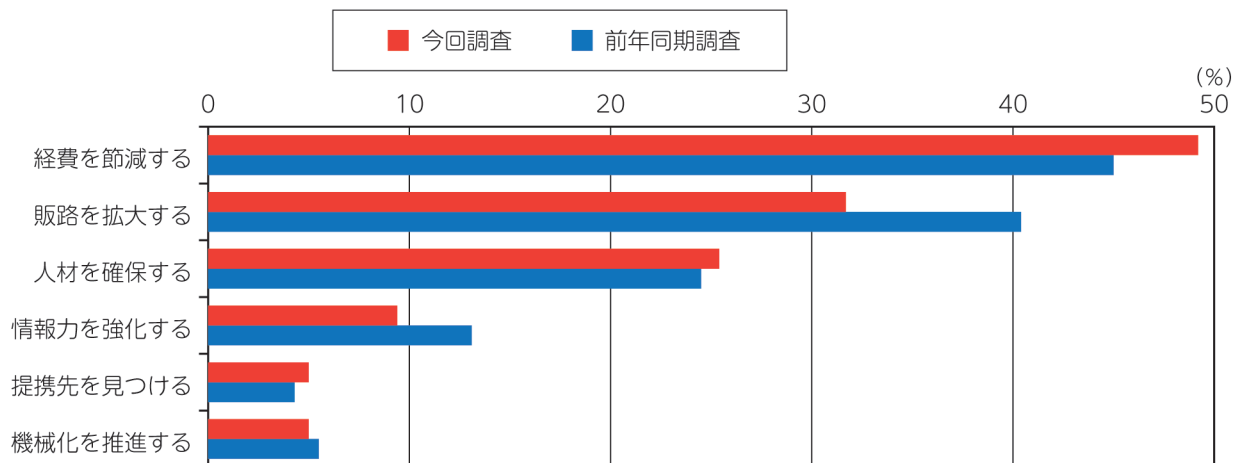


その他の調査結果

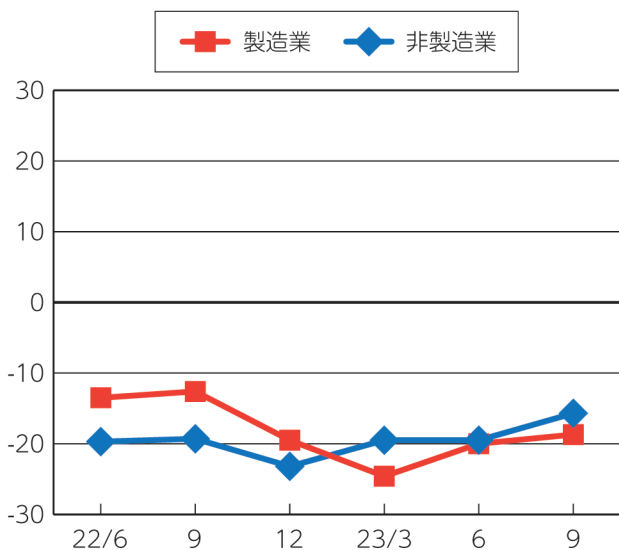
経営上の問題点（全体）



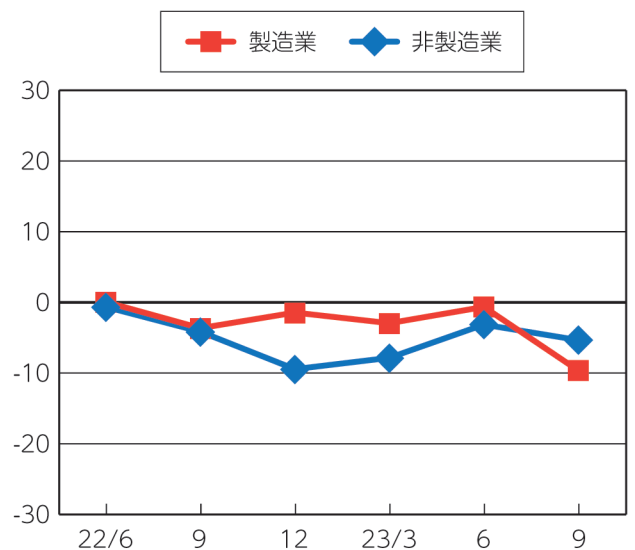
当面の重点経営施策（全体）



人手の適正度DIの推移（過剰-不足）



資金繰りDIの推移（楽-苦しい）



調査員のコメント

● 製造業

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が弱まり、受注は回復傾向であるが、原材料価格の上昇への対応が課題である。(食料品)
- ・業況は堅調に推移しているが、人手不足の解消が課題で、人材紹介などのサポートが必要である。(金属加工)
- ・主要取引先からの受注は堅調に推移しているが、後継者不在への対応が課題である。(金属加工)
- ・新工場の設備計画があり、各部門の相乗効果を図ることで、事業拡大を目指している。(一般機械器具)
- ・売上高の減少傾向に加え、原材料価格の高騰が収益を圧迫している。(一般機械器具)
- ・売上高、収益とも増加傾向にあり、人材を確保したいが、人件費増加による収益への影響が懸念される。(船舶)
- ・売上高増加とともに粗利益率も上昇。営業利益も大幅に増加しているため、業況は安定している。(自動車)
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で売上が低迷していたが、徐々に回復傾向にある。(その他)

● 非製造業

- ・仕入価格高騰を価格に転嫁できており、収益性には問題はない。(卸売業・配管資材)
- ・後継者(特に子供)に事業を承継するためには、まずは地場産業を盛り上げることが必要と考える。(卸売業・青果卸売)
- ・主力商品(アウトレット商品)は、物価高の影響から価格面で優位性があり、収益性は改善傾向にある。(小売業・家具販売)
- ・既存取引先を中心に受注は堅調に推移している。また後継者も決定している。(建設業)
- ・公共事業の受注は減少傾向にあるため、民間工事の受注に注力しているが、現場作業員が不足している。(建設業)
- ・建売業を営んでおり、業況は堅調。しかし社内での事業承継は考えておらず、事業譲渡する意向である。(不動産業)
- ・取引先の業況の回復で受注は増加しているが、燃料費高騰から経費削減が課題である。(サービス業・運送業)
- ・売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大前の7～8割程度で、今後も予断を許さない状況にある。(サービス業・宿泊業)

経済指標 (呉市の統計)

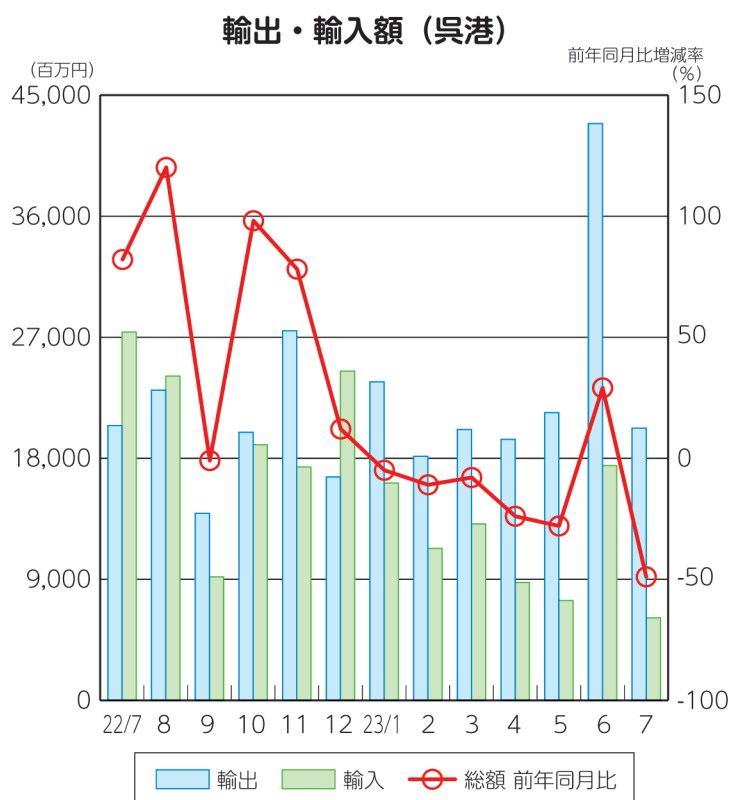
● 人口の動き (2023年8月末)

資料：呉市「人口データ(住民基本台帳)」による

区分	人口 (人)	前月比 増減 (人)	前年同月比	
			増減 (人)	増減率 (%)
中央	46,717	▲98	▲713	▲1.5
吉浦	9,436	▲10	▲216	▲2.2
警固屋	3,857	▲22	▲96	▲2.4
阿賀	13,972	▲35	▲307	▲2.2
広	43,590	▲99	▲730	▲1.6
仁方	5,814	▲13	▲124	▲2.1
宮原	6,582	▲12	▲112	▲1.7
天応	3,651	0	▲74	▲2.0
昭和	31,354	▲20	▲378	▲1.2
郷原	4,391	4	▲81	▲1.8
下蒲刈	1,179	▲10	▲90	▲7.1
川尻	7,549	▲11	▲126	▲1.6
音戸	10,370	▲22	▲182	▲1.7
倉橋	4,534	▲17	▲86	▲1.9
蒲刈	1,392	▲14	▲62	▲4.3
安浦	9,666	▲5	▲182	▲1.8
豊浜	1,129	▲1	▲11	▲1.0
豊	1,470	▲10	▲62	▲4.0
呉市計	206,653	▲395	▲3,632	▲1.7

● 輸出・輸入の動き (2023年7月末)

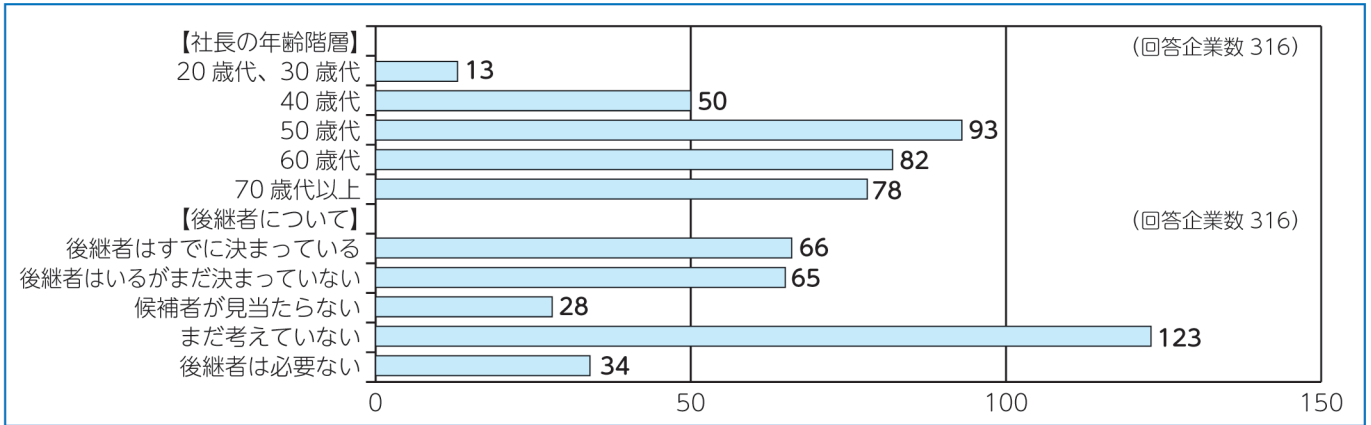
資料：神戸税関「管内地方港貿易概況」による



特別調査 中小企業の将来を見据えた事業承継について

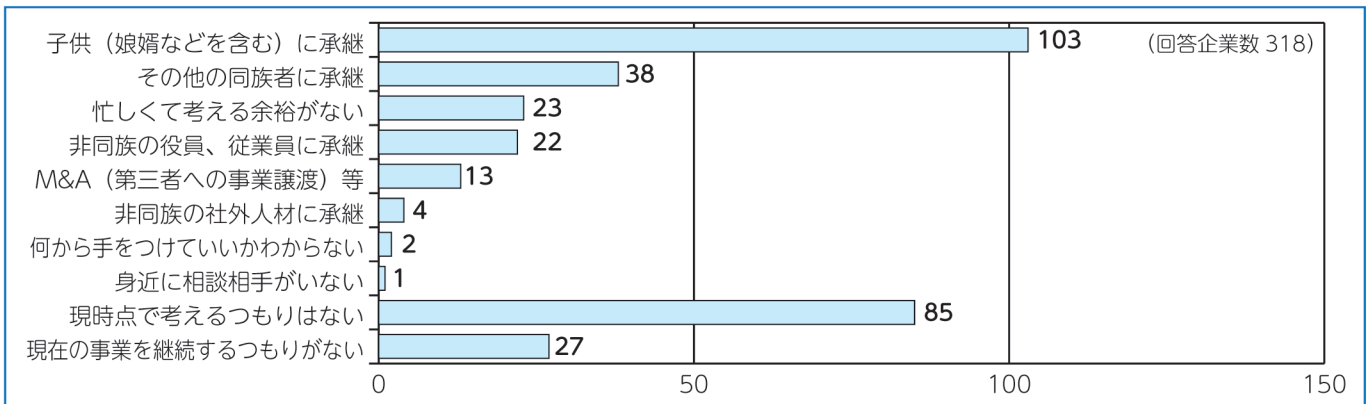
●社長（代表者）の年齢階層と後継者問題について

社長の年齢階層においては、50歳代が93社（29%）と最も多い状況でした。また60歳以上が計160社（51%）と、経営者の高齢化が見受けられます。後継者については、「まだ考えていない」と回答した企業が123社（39%）と最も多く、次いで「後継者はすでに決まっている」と回答した企業が66社（21%）、「後継者はいるがまだ決まっていない」と回答した企業が65社（21%）でした。



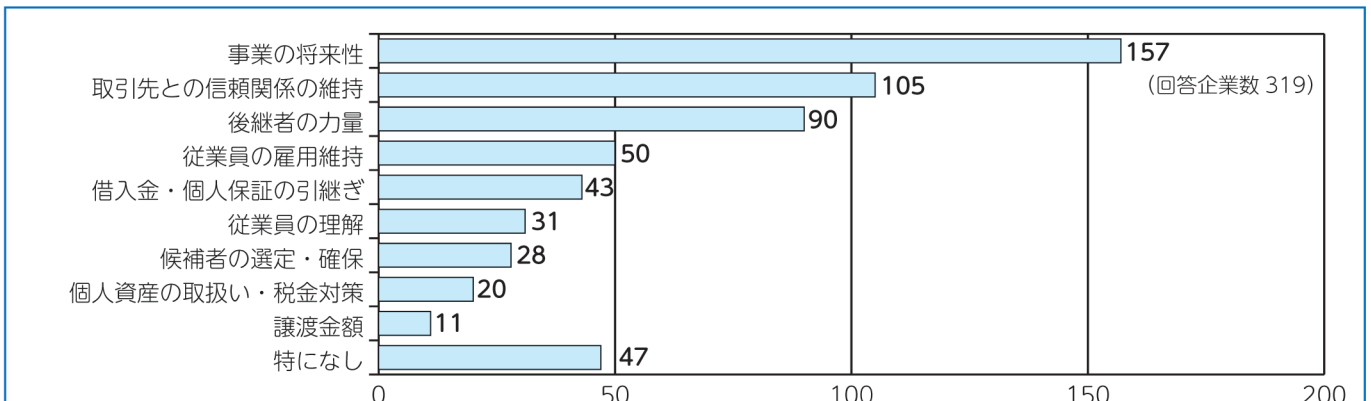
●現時点における事業承継の考え方について

現時点における事業承継の考え方では、「子供（娘婿などを含む）に承継」と回答した企業が103社（32%）と最も多く、次いで「現時点で考えるつもりはない」と回答した企業が85社（27%）でした。また「現在の事業を継続するつもりはない」と回答した企業が27社（8%）ありました。



●事業承継時に考えられる問題点について

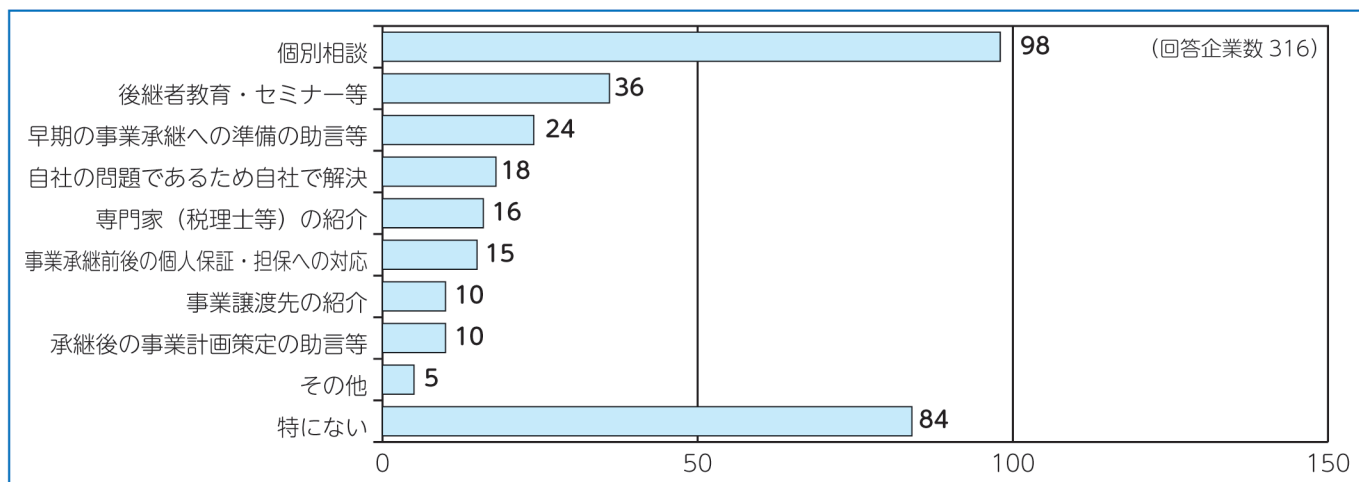
事業承継時に考えられる問題点について、「事業の将来性」と回答した企業が157社（49%）と最も多く、次いで「取引先との信頼関係の維持」が105社（33%）、「後継者の力量」が90社（28%）となりました。また「従業員の雇用維持」と回答した企業が50社（16%）、「借入金・個人保証の引継ぎ」と回答した企業が43社（13%）ありました。



特別調査 中小企業の将来を見据えた事業承継について

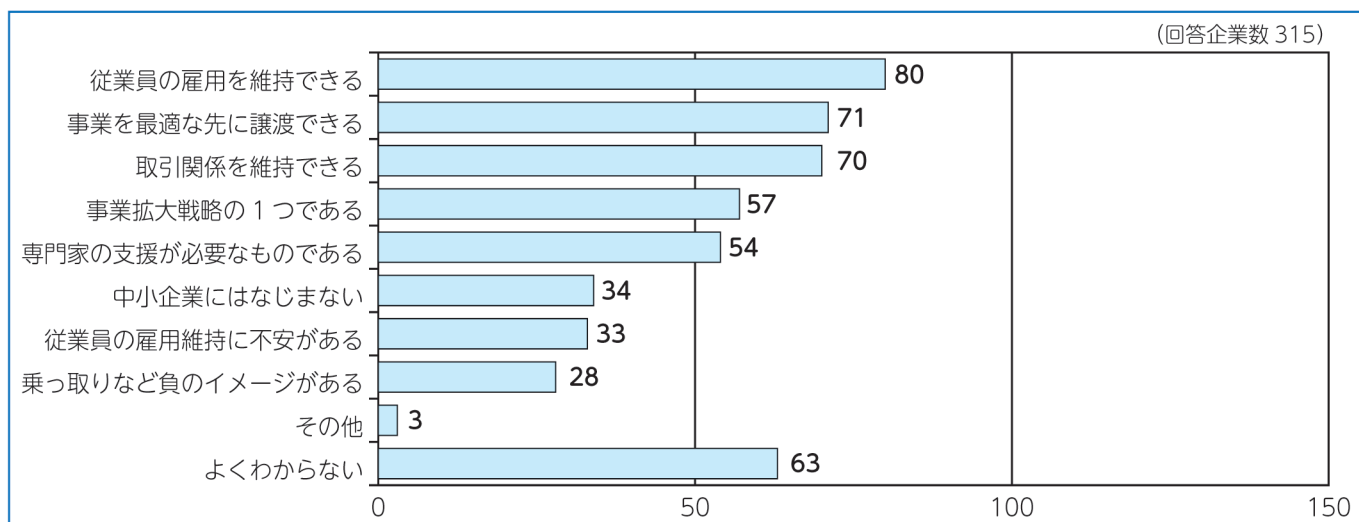
●円滑に事業承継を進めていく上で、信用金庫に期待していること

円滑に事業承継を進めていく上で、信用金庫に期待していることについては、「個別相談」と回答した企業が98社（31%）と最も多く、次いで「後継者教育・セミナー等」が36社（11%）、「早期の事業承継への準備の助言等」が24社（8%）となりました。また「専門家（税理士等）の紹介」が16社（5%）、「事業承継前後の個人保証・担保への対応」が15社（5%）など、項目は多岐にわたりました。一方で「特になし」と回答した企業が84社（27%）ありました。



●M&Aに対する認識について

M&Aに対する認識では「従業員の雇用を維持できる」とした回答した企業が80社（25%）と最も多く、次いで「事業を最適な先に譲渡できる」が71社（23%）、「取引関係を維持できる」が70社（22%）となっており、M&Aによる事業承継が円滑な事業承継の一つの方法として認識されているものと考えられます。一方で「従業員の雇用維持に不安がある」と回答した企業が33社（10%）、「乗っ取りなど負のイメージがある」と回答した企業が28社（9%）と、M&Aに対して負のイメージを持つ企業も見られます。



くれしん景気動向調査（2023年7～9月期）

編集・発行

呉信用金庫 経営企画部

〒737-8686 広島県呉市本通2丁目2番15号 TEL 0823-25-6822

